

Sunshine

Letter

こんにちは！
「サンシャインくん」です。
英語教育をがんばる先生を
応援しています。

5年目を迎えた 小学校外国語科の 成果と課題

Jakob Berg/Shutterstock.com

- 特集** 教科調査官 早川優子先生に聞きました
5年目を迎えた小学校外国語科の成果と課題 2
- 連載** 先生のお道具箱 ～What's in your toolbox?～
指導観、学習観をアップデートするICT活用法
徳島県佐那河内村立佐那河内小学校講師 堀井 晴美 6

特集 インタビュー

教科調査官
早川優子先生に
聞きました

5年目を迎えた 小学校外国語科の 成果と課題



早川 優子

国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官。
文部科学省初等中等教育局教育課程課外国語教育推進室教科調査官。

現行の学習指導要領の全面実施から5年目。

次期改訂に向けた議論が始まりつつある今、今年度から教科調査官に就任された早川優子先生に
小学校外国語教育の「これまで」と「これから」についてお話を伺いました。

小学校外国語教育の成果を 支えているものは何か

 小学校外国語教育にとって、この4年間は
どのような4年間だったと思いますか。

小学校外国語教育は間違いなく成果を上げていると感じています。そのことについてデータと経験、客観と主観の両面から述べます。

前者についてまず挙げられるのは、令和5年度に実施した全国学力・学習状況調査の児童質問紙の結果です。「英語の勉強が好き」と答えた児童は約7割、「英語の勉強は大切だと思う」は約9割にも上りました(図1・2)。そして同調査の学校質問紙調査では、外国語教育の充実のために研修等の機会を設けているかどうかについて、肯定的な回答をした学校が7割を超えました(図3)。以上のことから、外国語教育の大切さは児童にも教師にも周知され、多くの児童が英語を学ぶ意欲をもっていることがわかります。

令和5年度全国学力・学習状況調査の児童・学校質問紙の結果 ▶
【出典】令和5年度全国学力・学習状況調査報告書(国立教育政策研究所)

*は開隆堂による。

図1 【児童】英語の勉強は好きですか

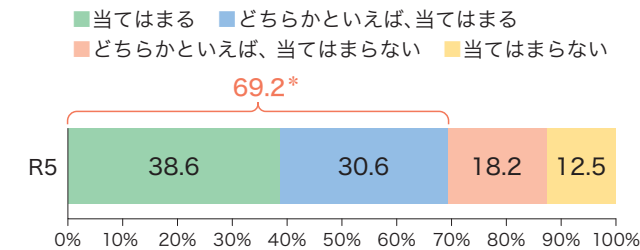


図2 【児童】英語の勉強は大切だと思いますか

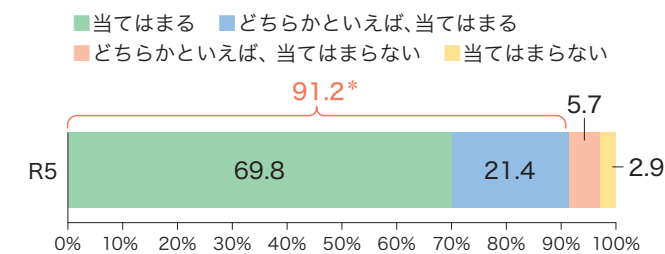
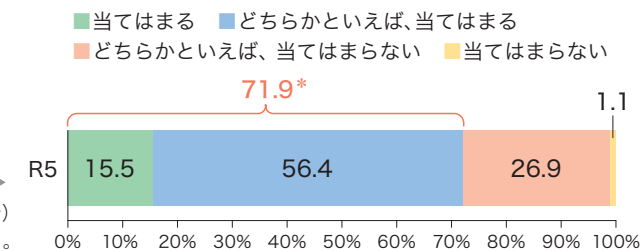


図3 【学校】学校として外国語教育の充実に取り組む上で、
必要な情報や研修、自己研鑽の機会等を十分に設けて
いますか



現行の小学校学習指導要領(以下、学習指導要領)が全面実施となって教科外国語がスタートしたのは、私が山梨県教育委員会の指導主事になって2年目のときでした。当時の研修会では、現場の先生方から教科書の活用の仕方や学習評価などについて、不安や緊張の声を多く聞きました。それが今では話題が授業改善に焦点化され、学習指導要領の趣旨の実現に向けた内容の濃いものになってきています。指導力や英語力が向上し、抵抗なく外国語教育に取り組めるようになってきたと実感しています。



先生方に前向きな変化が現れた背景には
何があると思いますか。

一つには、文部科学省が授業事例を基にわかりやすい研修用の動画を数多く配信したり、各自治体がさまざまなテーマできめ細かな研修を実施したりして、先生方に寄り添った手厚いサポートが積み重ねられてきたことが挙げられます。

もう一つは、小学校はチームとして学校教育を推進する意識が高いことです。校内研修には外国語科の指導を担当しない先生も参加し、地道に教材研究をしたり、先生どうして授業を見せ合ったりして指導力を高めている様子をよく見聞きしています。校内研修は誇れる学校文化だなと思います。

課題は児童が自分の考えや気持ちを 伝える英語を引き出せるようにすること



一方で、課題だと思うことは。

言語活動への理解が深まり、児童理解を生かした魅力的な題材選択や場面設定が行われるようになりました。次の課題は、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、児童が既習の語句や表現を活用して自分自身で考えや気持ちを伝える英語を引き出せるようにすることだと考えています。



その解決には何が必要でしょうか。

指導者が児童の学習状況をしっかりと把握し、適宜、学習の改善を図れるようにコーディネートすることで。「指導と評価の一体化」ですね。



「評価は難しい」という声も聞きます。

まずは単元で育成を目指す資質・能力を明確にすること、目標を達成した児童の姿を具体的にイメージすることが大切です。

小学校生活の思い出について内容を整理した上で話すことができることを単元目標とします。単元末にどのようなパフォーマンスができることを目指しますか。“My best memory is the school trip. I went to Kamakura. I saw the Great Buddha. It was big.”や、そのあと“I enjoyed riding the train.”などが続くものもあると思います。単元で目指す児童の姿を具現化することで、単元で扱う言語材料がはっきりします。児童がこれらを用いて話すことができるようにするためには、実際に繰り返し使ってみることが必要です。たとえば「過去を表す言語材料を使えるように、週末にしたことをテーマにしたSmall Talkを設定しよう」「児童が学習の見通しをもてるように、導入で教科書のこの映像を見せよう」など、どのような場面を設定し、どのような活動を積み重ねていくべきかが決まります。

このように単元の指導の見通しを明確に、かつ具体的に立てておけば、授業中に児童が何ができ何ができいていないのかを把握しやすくなります。児童の実態に応じて学習の改善のための指導ができるようになるというわけです。

実は、児童に確かな力をつけるためには、これまで以上に授業中の行動観察を大切にしないといけないと思っています。



指導者が単元で育成する
資質・能力を明確に
することが大事なんです。



学習評価を生かして メリハリのある授業を

☀️ なぜこれまで以上に行動観察が重視されるのでしょうか。

今、個別最適な学びと協働的な学びの推進によって、学び方が多様化しています。授業中に、指導者が児童一人ひとりが何をしているのかをしっかり観察していないと個々の達成状況がわからなくなってしまいます。

児童は外国語を学び始めたばかりの段階ですから、使える言語材料には限りがあります。「自分で考えよう」「友だちと相談してみよう」と促したところで行き詰まってしまうことも少なくないでしょう。そのような状況を見取ったら、その場で切り替えて指導する必要があります。児童に委ねるところと指導するところのメリハリが大切です。

☀️ 授業中に個々のパフォーマンスを十分に
見取れないこともあるのでは。

そこはICTの活用が考えられます。先ほどの小学校生活の思い出の単元で、動画を使った学習改善の図り方の例を紹介します。児童が撮影した動画をチェックし、ある児童が「見たものや食べたものの感想を伝えたいが、“It

was 〜.”の言い方がわかっていない」状況を見取ったとします。次の時間の初めに前時の活動を振り返る場面を設定して、児童の動画を見せながら「思い出をもっと詳しく伝えるために、何と言ったらいいかな」と問いかけ、全員に考えさせます。児童はデジタル教科書を開いて既習の言語材料を確かめてふさわしいものを探したり、話す内容を整理したりするようになるでしょう。

小学校外国語教育が いっそうの充実を図るために

☀️ これからの外国語教育の充実には、個に応じてICTを活用していくことも大切ですね。

ICTは「個に応じた学び」の保障には必要不可欠なツールですから。でも、デジタル教科書を含めて活用状況にはまだ地域格差などがあるのが実情です。今後は文部科学省公式YouTubeチャンネルなどを通じて効果的な活用について周知を図る予定です。

ところで、外国語教育の充実となるとICT活用ばかりが目立がちですが、大事なのは外国語活動だと思います。小学校外国語教育が先に触れたような成果を上げた要因の一つは、中学年と高学年の学習が円滑に接続しているからだと考えられます。中学年で英語の音声に慣れ親しみ、英語で伝え合う楽しさを味わう経験を積むことが、高学年の学びの支えとなっているということです。それを踏まえ、これからも外国語活動の特質に応じた指導を行っていただきたいと思います。

文部科学省 / mextchannelの
YouTubeチャンネルには
ここからアクセスできます！



早川先生にとって英語教育とは？

山梨県内の小学校教諭、同県教育委員会指導主事、小学校教頭を経て現職に就かれた先生に、英語教育との関わりについてお話を伺いました。

— 英語教育との関わりについて

きっかけは、平成27年度から3年間、当時勤務していた昭和町が文部科学省の英語教育強化地域拠点事業を受けたとき、ちょうど高学年の学級担任をしていたことです。もともと英語を学んだり英語を使って外国の人とコミュニケーションを図ったりすることは好きだったので、小学校外国語教育の重点を理解するために、学習指導要領を読み、モデル授業を見るところから勉強を始めました。幸いにも授業公開をさせていただく機会に恵まれ、前教科調査官・前視学官の直山木綿子先生や英語教育を牽引する先生方から指導していただいたり、同僚の先生方と実践研究を積み重ねたりしているうちに、英語教育の魅力にどんどんはまっていきました。

— 忘れられない授業は

指導主事になる前の最後の研究授業は、自分にとっての転機でした。文部科学省発行の新学習指導要領対応小学校外国語教材 *We Can! 2* のUnit 9 “Junior High School Life”の単元です。

この単元では、「中学校の先生にがんばりたいことを宣言しよう」を活動テーマとし、初めて出会う中学校の先生に中学校見学で自分のことをわかてもらえるように詳しく伝えるというゴールを設定しました。

そこで、中学校のALT（外国語指導助手）に依頼して、児童宛てのメッセージ動画を送っていただきました。その動画を見せたら、児童は“I like 〜.”、“I want to be a 〜.”だけでは自分たちのことをわかってもらえない。理由を付け足して、つながりのある

話をしなければいけない」と気づいたんです。相手意識や目的意識が明確になるとコミュニケーションが豊かになることを体感できたと思います。

中間指導でも印象的な出来事がありました。ある児童が『絵を描くことが苦手だから、中学校でがんばりたい』と言いたい」と発言しました。すると、他の児童から「得意なことや好きなことだけではなく、苦手なことに挑戦することはすてきだね」と声上がり、既習表現を使ってどう伝えればよいかを全員で考え出しました。

それまで外国語の授業において「本物のやり取りをすること」「うそは言わないこと」「素直な気持ちを伝えること」「活動には必ず必然性をもたせること」をずっと大切にしてきました。その成果が実を結んだように感じました。

— 外国語教育で大切なことは

繰り返しになりますが、本物のやり取りをすることです。相手意識や目的意識を明確にした言語活動を地道に積み重ねることで児童は力をつけていくと思います。そのためには児童が伝えたい仕掛けと題材設定の工夫が不可欠です。

— 外国語教育ならではの魅力とは

第二言語を話すという高いハードルに臆せず挑戦し続けることで、自分の気持ちを自分の言葉で伝える力が身につくことです。その力はすべての生活場面において生かされ、子どもたちが自分の道を切り拓くきっかけにつながると思います。

「本物のやり取りをすること」「うそは言わないこと」
「素直な気持ちを伝えること」「活動には必ず必然性をもたせること」が大切。



先生のお道具箱 ～What's in your toolbox?～

【Vol.4】指導観、学習観をアップデートするICT活用法

堀井 晴美

徳島県
佐那河内村立
佐那河内小学校講師



1 はじめに

佐那河内小中学校は村で唯一の小・中学校で、地域をあげて「ふるさと学習」「プログラミング教育」「英語教育」の充実に力を入れ、小中一貫教育を行っています。英語教育については鳴門教育大学と連携協定を結び、独自のカリキュラムで小1から実施しています。

2 使い方は児童に学ぶ

令和5年度から、鳴門教育大学が公益財団法人教科書研究センターの委託で外国語教育におけるデジタル教科書の活用について研究することになりました。それをきっかけに、私もデジタル教科書の効果的な活用に取り組み始めました。しかしながら、ICTは日常生活でもあまり使っておらず、苦手意識すらあるのが実情です。児童のほうからずっとICTを使い慣れています。そこで、「ICTの使い方は児童に教わろう」と発想を転換し、年度始めの第1時に、児童にデジタル教科書を自由に使わせてみました。すると、児童はさまざまな機能やコンテンツを発見して教えてくれたので

す。それ以来、児童が見つけた使い方を学級みんなで共有し、一緒に学び方を広げていくことにしました。

3 児童が見つけた豊富な活用アイデア

一斉授業を中心とした従来の学習形態では、すべての児童の「これと言えようになりたい」「もっと聞きたい」という気持ちに応えることには限界がありました。しかし、デジタル教科書を使えば、児童一人ひとりが自分の課題解決に向けて、自分に合った学び方ができます。そこで、外国語の授業では毎時間「チャレンジタイム」を設けることにしました。これは、児童が学習者用デジタル教科書を自由に使ってよい時間です。児童は操作をしているうちに、新たな機能や使い方を見つけます。次々と活用のアイデアが出てくることに驚いています。

児童がデジタル教科書を活用して最も多く取り組んでいるのは音声の確認です。教科書の紙面読み上げ機能やWord Bookの二次元コードコンテンツなどを使って、それぞれの児童が聞きたいと思った語句や表現の音声を確認、練習しています。

その他、よく使っている機能には、スタンプ機能、付箋機能、タイマー機能、リンク機能などがあります。

4 デジタル教科書が可能にしたこと

デジタル教科書の長所の一つは、文字や線を書いたり消したり移動さ

デジタル教科書の便利な機能

1 スタンプ機能



教科書やWord Bookに掲載されている語句や表現のそばに、言えるようになったものには花丸、自分のことを伝えるために使いたい単語にはスマイルなどのマークをつける。

😊 操作が簡単なので気軽に取り組めるようです。学習状況の記録や確認という、主体的な学びにつながる活用方法を見つけられてよかったと思っています。

2 付箋機能

発表に向けて、何を言うかをメモに取ったり、話す内容を整理したりする際に使用。友達からのアドバイスや間違えやすい箇所などを、付箋の色を変えて記録する児童もいる。

😊 追加や削除、位置の移動や文字の修正などが簡単に行えるので、紙の付箋より便利です。

せたりすることが瞬時にできることだと思います。紙の教科書の場合、きれいに書くことや誰かに見られることを気にして、書き込むことをためらう児童がいます。そのような心配はデジタル教科書では不要です。児童は自分のつまずきやできるようになったことなどを、自由に記録しています。成果が見えるようになって、児童は学習意欲を高めているようです。学習の記録がおのずと蓄積され、デジタル教科書が一人ひとり

3 タイマー機能



制限時間内に話すことができるようになるための練習や、学習活動の時間管理などに使用。

😊 オーストラリアの小学生と交流した際は、一人当たりの発表時間はわずか20秒ほどでした。児童は「時間内に全員が交流できるように」「短時間で相手に自分のことをわかってもらえるように」と見直しを繰り返しながら発表を作り上げていました。

4 リンク機能

使いたい語句がWord Bookで扱われておらず、インターネットで調べることがある。そのURLをデジタル教科書の紙面に貼りつける。

😊 教科書が児童オリジナルの単語帳になります。機械翻訳は正確であるとは限らないため、必ずALTに確認するように指導しています。

の「自分の教科書」になっていっていると思います。

5 指導観の変化

このような学習を積み重ねているうちに、チャレンジタイムでは、友達どうして英語で会話をしたり、クイズを出し合ったり、ALTに話しかけたりする児童の姿が見られるようになりました。児童は一生懸命に練習したら、その英語が使えるようになったのかを確かめたいという欲求を自然と抱くものなのだと気づかされました。何も指示をしていないのに、英語を使ってコミュニケーションを図り出す姿を見たときは本当にうれしかったです。

それから指導観が変わりました。これまでは、単元ゴールの言語活動に向けて、指導者が各時のめあて、活動内容や時間配分を決めていました。現在は、第一時に単元のゴールを児童と一緒に作って共有したら、教科書に示されためあてをたよりに児童一人ひとりが目標を立て、その実現のための学び方を選択して取り組むことができるようにしています。

6 児童の主体性を引き出すために

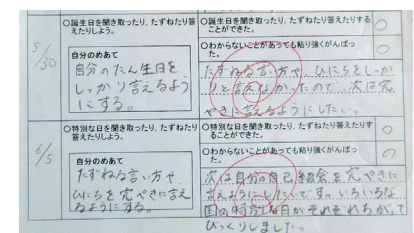
児童に任せる部分が増えたことに伴って、必要に応じて適切な指導ができるよう、一人ひとりのめあてと振り返りを記入できるワークシートを使うことにしました(図)。児童が何をがんばりたいのか、何を課題としているのかということを知るため学習到達状況を把握するために役立てています。

ALTの役割もいっそう明確になり

ました。「ALTに自分の英語をわかってもらえた」「発音を褒められた」という体験は、児童にとって自信につながります。ALTには教室中を回って児童のコミュニケーションの相手として活躍していただき、児童が実際に英語を使う機会を充実させることが大切だと考えています。

7 終わりに

デジタル教科書を積極的に活用するようになって、英語に苦手意識をもっていた児童から「英語が好きになった」という声を聞くようになりました。その一方で、ICT機器の操作が苦手な児童、ICTを活用した学習活動に関心をもちにくい児童もいます。鳴門教育大学の調査では「英語が好きな児童はICTが好き」という傾向が見られるそうです。今後は、すべての児童が学習に取り組みやすいデジタル教科書の活用法を模索していきたいと考えています。



▲ 図 児童が記入した振り返りシート
各児童の本時のめあてや学習到達状況について把握できます。

授業で使われている
振り返りシートは、
二次元コードから
ダウンロードできます！



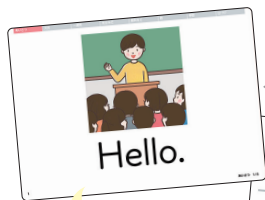
小学校外国語科・外国語活動 指導用資料のご紹介

Junior Sunshine 5・6 完全準拠 単語絵カード 上／下／EXTRA

単語絵カード 上／下

Junior Sunshine 5・6 Word Bookに収録されている単語をカード化しました。

定 価：各 44,000円(本体 40,000円)
仕 様：A4判／各370枚



ウェブサイト
音声データを提供。

◀表面

単語絵カード EXTRA

言語活動をより豊かにするためにJunior Sunshine 5・6 Word Bookに未収録の単語を選定しました。

定 価：33,000円(本体 30,000円)
仕 様：A4判／260枚

カードの表面には
「イラストと英単語」、
裏面には「英単語(4線付)」
を掲載。

◀裏面

Junior Sunshine 5・6 完全準拠 指導用掛図 5／6



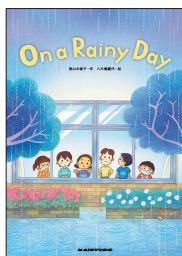
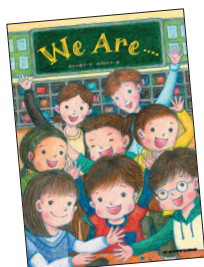
Junior Sunshineの各単元の導入、読むことや書くことの指導などをサポートする大型掲示用資料。児童の授業への集中力を高めます。

単語絵カードと
掛図を組み合わせ
活用できます！

定 価：各 36,300円
(本体 33,000円)
仕 様：A全判／各40枚
フルカラー



We Are...



On a Rainy Day

直山 木綿子 作

定 価：各 9,900円(本体 9,000円) 仕 様：B4判／各24ページ(カラー)

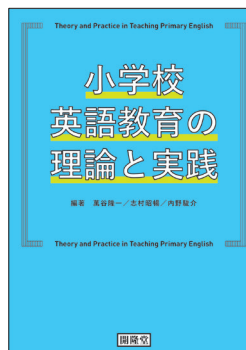
平和な世界を作るうえで、ことばを用いたコミュニケーションの大切さを伝えるシリーズです。

- ・ストーリーを楽しみながら英語の音声や表現に慣れ親しめる
- ・意味を推測しながら聞いたり読んだりする力を育める
- ・始業前の帯活動、授業中、読み聞かせや自主学習などで活用できる
- ・タブレット端末等で二次元コードを読み取ると、読み聞かせ動画が視聴できる
- ・学校図書館の蔵書にも最適

Our Treasure



大型
英語絵本
全3巻



小学校英語教育の 理論と実践

萬谷隆一・志村昭暢・内野駿介 編著

より質の高い小学校英語教育の実践には何が必要か。第一線で活躍する研究者・実践者が理論・実践の両面から迫ります！

定 価：2,420円(本体 2,200円)
仕 様：A5判／320ページ

第1部 理論編

第二言語習得論と小学校英語、4つの「話せるはず」を問い直す、言語活動と評価、言語活動と読み書きの指導 ほか

第2部 授業実践例編

複式授業アルファベット指導(3、4年)、What do you want?(4年)、Where do you want to go?(5年)、I want to be a vet.(6年) ほか

二次元コードで講義や授業の動画が視聴できます。

内容や仕様および定価は変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

開隆堂出版 LINE 公式アカウント 友だち募集中！



年間指導計画作成資料や実践事例など、授業に役立つ情報をお届けしています。
ぜひ友だち登録をお願いします！

@155fjwpt



Cover Picture 世界のおまつり④ Festival of Lights (ドイツ)

首都ベルリンで、毎年10月に開催されるイベント。今年で20回目を迎える。ポツダム広場やブランデンブルク門など、数多くの観光名所がライトアップされ、街中が幻想的な光で彩られる。国際的に人気が高く、約10日間の期間中に世界中から多くの観光客が訪れる。表紙の写真は2021年のベルリン大聖堂の様子。

小学校英語情報誌

Junior Sunshine Letter Vol.7

非売品



開隆堂出版株式会社

本社 〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1 ☎ 03-5684-6111

2024年9月20日印刷 2024年10月1日発行 編集兼発行人 岩塚太郎

発行所 開隆堂出版株式会社 〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1

☎ (03) 5684-6121 (営業)、5684-6118 (販売)、5684-6115 (編集) <https://www.kaikudo.co.jp/>

北海道支社 〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11-4-21 52山京ビル7階 ☎ 011-231-0403
東北支社 〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡3-10-7 サンライン第66ビル5階 ☎ 022-742-1213
名古屋支社 〒461-0004 愛知県名古屋市中区葵1-15-18 オフィスサンナゴヤ9階 ☎ 052-908-5190
大阪支社 〒550-0013 大阪府大阪市西区新町2-10-16 ☎ 06-6531-5782
九州支社 〒810-0075 福岡県福岡市中央区港2-1-5 FYCビル3階 ☎ 092-733-0174